

新まちづくり 計画

市役所改革
プラン

市民自治推進
プラン

札幌新まちづくり計画 重点事業編が完成

3年間のまちづくりの方向性を具体的に示します

今後のまちづくりにおいて重点的に進めていく事業をまとめた「新まちづくり計画 重点事業編」。この計画は、これまでの5年計画に相当するものですが、よりスピードと実効性を重視し、計画期間を16～18年度の3年間としているのが特長です。

重点事業編の策定に先立ち、5月には、その理念を示す「ビジョン編」を発表しています。

重点事業編は、本市で初めて「パブリックコメント制度」を経て策定。計画には、ビジョン編で定めた、「市民自治の推進」「安全・安心なまちづくり」など5つの視点を踏まえて、市として重点的に進める事業を厳選して盛り込んでいます。

ここでは、5つの視点に沿って、主な事業を紹介します。

札幌新まちづくり計画

ビジョン編

市民・企業・行政などが共有するまちづくりの理念や指針をまとめたもの。

重点事業編

「ビジョン編」に基づき、3年間で市が重点的に進める事業を盛り込んだもの。

※市民の皆さんから寄せられた意見の概要とそれに対する市の考え方を計画書に掲載しています。

まちづくりに大切な 5 つの視点

札幌駅前通地下歩行空間の整備

都心の魅力を高めるため、地下鉄さっぽろ駅と大通駅をつなぐ地下通路を整備します。



市立大学の設置

次世代を担うデザイナーや看護師などの養成のほか、産業の振興などまちづくりへの幅広い貢献を目指します。

2

さっぽろブランドの創出・継承

札幌の個性、資源を生かした取り組みを進める

ITを活用した 障がい者在宅就労支援

札幌の優れたIT（情報技術）基盤を生かして、障がいのある方が自宅に居ながらIT関連の仕事を行えるよう、技術研修の実施や就労支援機関の設置などの取り組みを支援します。



市民自治推進

市民会議が中心となって、フォーラムなどのイベントを開催し、「自治基本条例」の制定を目指して取り組みます。

1

市民自治の推進

市民主体のまちづくり活動を支援する



子どもの権利の推進

子ども一人ひとりの権利が尊重されるまちを目指し、「子どもの権利条例」の制定に取り組みます。

区民とつくる 地区センターモデル事業

清田区の地区センター新設に当たり、地域住民によるワークショップを開催。地域のニーズを把握し、交流・活動拠点づくりのモデルとして取り組みます。

まちづくりセンターの 整備、活動への支援

まちづくりセンターを地域の交流・活動の拠点として、市民の自発的な活動を支援します。

